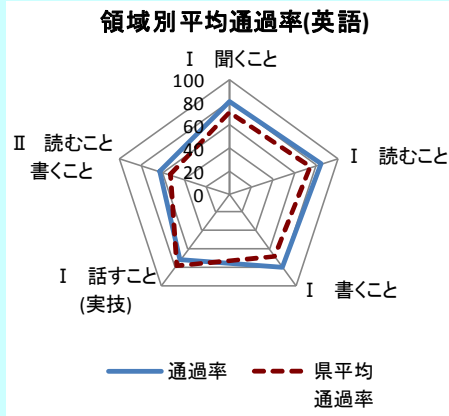


「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 76.3%, 県 69.6%)

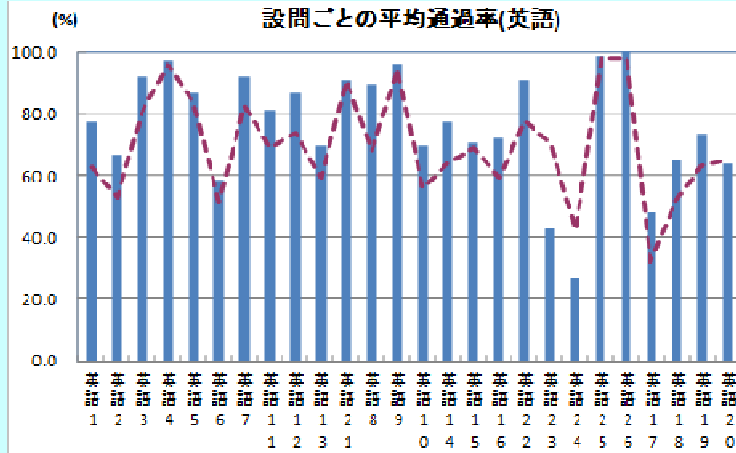
対県比 109.6 %

本年度の結果について

領域別平均通過率

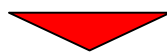


設問ごとの平均通過率



○全体的な傾向について
英語の結果において、タイプⅠは78.7%、タイプⅡは62.7%の通過率となっている。この結果から、基礎的・基本的な内容の定着はおおむねできていると考えられる。しかし、タイプⅡの結果からわかるように、表現の能力が不十分な生徒が多いことがわかる。

○課題
実技で極端に通過率が低い問いがある。音声における質問への理解力が不十分であることがわかる。



重点課題

「基礎・基本」定着状況調査

【課題1】(111 適切な質問を考え英文を書く) (通過率 48%)

“That’s good.” “_____” “He wants a jacket.” という会話文を成り立たせる問いに対して, ”What do you want?” “How about~?” と会話がつながらない英文を答えている生徒が多い。

無答率 10.7% 適切でない英文 29.3%

【課題2】(実技2・3) (通過率 2 : 42.7% 3 : 26.7%)

2 ”What day is it today?”の質問に日付を答えてる 【52%】

決まった順番にたずね, 答えるという日々の授業でのパターン練習が影響し, 英文の内容を理解できていない。

3 ”What is she doing now?” という進行形の質問に対して, 絵だけで状況を判断したため, 現在形で答えた。【52%】

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

「基礎・基本」定着状況調査

【課題1】目標値 (60 %) 実施後数値 (%)

- ・会話文や長文での読み取りで, 主語の確認をしていく。
- ・質問文など口頭でたずねるだけでなく, 書くことで表現する練習をする。

【課題2】目標値 (80 %) 実施後数値 (%)

- ・日々の授業で質問順番を変えたり等パターン化しないようにする。
- ・音声しか情報がない状態でのやり取りの実技練習を取り入れる。

※今後の改善計画については別紙